

「タリン歴史地区（旧市街）の丘の上から。
まるで魔女が飛んでいるような景色に感動」



海をこえて

国際交流センター運営委員・文学部教授（日本語日本文学科） 村野 良子



海は広いな、大きいな～行ってみたいな、よその国
1965年7月、太陽がいっぱいの南カリフォルニア、マリブビーチ。太平洋を前に田舎の高校生だった私の中でこの文部省唱歌がリフレインしていました。「とうとう来てしまった」。日本がまだ貧しく、1ドル360円の固定レートだった歴史的過去です。小学生のときからの夢がかない、奨学金を得て、ピバリーヒルズ高校にホームステイ留学しました。1990年代に日本でも大ヒットした「ピバヒル高校白書」のあの高校です。といってもこれも歴史的過去です。異文化というよりは異次元の世界でした。一年後、カリフォルニアからホワイトハウスまでの1か月の大陸横断バス旅行を経て、アメリカの多様性を知ることになります。

わずか1年間でしたが、人との出会い、見聞したことを通じて感じたことや考えたことは、半世紀以上たった今も私の中の根っこになっています。

わたしのアメリカ留学には学位の取得とか、言語の上達などといった「正しい」目的があったわけではありません。「行ってみたいな」という気持ち、飛び切り強い思いがあっただけです。何一つ見逃してはいけな、一瞬たりとも目を閉じたくないと気持ちも昂りました。「日の丸を背負って」といった気負いも前時代的です。

今の学生さんは、本当にいとも簡単に、国境をこえます。私が所属する日本語日本文学科では毎年海外で日本語教育研修旅行をして

いますが、「海外初めて」という学生さんが大多数です。ところが一度パスポートを手にとると、フットワークも心も軽くなります。オーロラ、フィヨルド、マチュピチュにマダガスカル。SNSで知る卒業生の行動範囲にはびっくりするばかりです。日本語教師として東アジア、東南アジア、オセアニアはもちろん、南米の奥地やアフリカに出かける人もいます。嬉しいな、と感心します。

とはいえ、海外といえばテロや犯罪のニュースも聞きますから、親御さんのご心配やみなさん自身の不安があるのは当然です。そんな人のために、夏休みや春休みに参加できるいろんなプログラムを国際交流センターを始め、学科、学部が数多く用意して、サポートしています。アンテナを張って、掲示板やウェブサイトの情報を見逃さないようにしましょう。

「海外はちょっと…」という人のためには、パスポート不要の留学もありますよ。それって何？と思ったら、調べてみてください。

海のむこうのよその国のことも、今はネットなどで手軽に情報が入手でき、行ったつもりになれる時代です。それでも、海をこえてみませんか。言葉がわからなくても、観察することはできます。その場に身を置いて、よその国の空気を吸ってきましょう！目的なんてあとからついてきますから。

国際交流 on Campus ～「国際交流センターボランティア」の募集と活動紹介

本学には、2017年3月現在、240名ほどの外国人留学生（私費・協定・国費・研究生そのほか）が在籍しています。国際交流センターでは留学生の在留管理、学内外の奨学金等経済的支援など各種相談へ対応するほか、彼らの本学および日本での留学生生活充実のための支援を行っています。

そこで、留学生のサポート役として活躍してくれているのが「国際交流センターボランティア」の在学生です。外国人留学生の役に立ちたい、彼らに日本を伝えたい、留学に興味がある、留学生と交流したい、英語や外国語のブラッシュアップを... などなど、国際交流に興味のある方はぜひ、ボランティア登録をしませんか？登録の方法は、ホームページ・G-portでご確認ください（新入学生は、7月より登録が可能です）。一度登録していただければ、本学在学中は毎年度末に自動更新し、継続できます。

〈活動内容の一例（過去の活動内容は、ホームページ、Facebookでご覧になれます）〉



- ・協定留学生パティ（3面でパティプログラムを紹介）
- ・短期ホストファミリー ・留学生交流行事の企画運営
- ・伝統文化芸能体験活動の企画運営補助
- ・チャットルーム企画運営 ・留学相談・アドバイス
- ・短期日本語研修ボランティア（写真左）

春季語学研修（イギリス・台湾）報告と夏季語学研修の実施について

国際交流センターでは、毎年夏・春の長期休業期間中に、さまざまな国・地域で語学研修を実施しています。平成28(2016)年度の春季休業期間は、海外協定校で英語・中国語研修を実施しました。平成29(2017)年度の夏季休業期間の実施予定もご覧ください。

■ 春季英語研修

●エディンバラ大学（イギリス）※本学協定校〈参加28名〉

渡航期間：2月5日（日）～2月26日（日）
 研修内容：本学生のために企画された英語レッスンの受講、現地学生との交流、郊外へのフィールドトリップなど



私は初の海外で様々な初めてを経験したいと思い、この研修に参加しました。研修は短期間なので参加しやすく、スコットランドでは歴史を感じる建物や文化、自然に触れることができます。他の参加者との交流の輪も広がり、語学学習はもちろんそれ以外の部分でも自分の学生生活の財産となりました。

（参加学生代表 法学科 後藤 真伯さん）

■ 春季中国語研修

●淡江大学（台湾・台北市）※本学協定校〈参加16名〉

渡航期間：3月5日（日）～18日（土）
 研修内容：レベル別に分かれた中国語レッスン受講、現地学生との交流、郊外へのフィールドトリップなど



中国語の難しさの一つに四声と呼ばれる発音があります。勉強していくうちに実際に中国語が飛び交う中で学習する機会が必須だと思い、この研修に参加しました。指導員の方々のサポートもあり、中国語で話すことの楽しさを実感でき、学習意欲の向上に適した環境です。たかが2週間ではありません。この期間は各々に多大な影響を与えてくれたと感じています。（参加学生代表 哲学科 八若 亜璃紗さん）

■ 平成29（2017）年度夏季語学研修の実施予定

海外協定校および国内英語教育機関で以下のとおり予定しています。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか？募集時期や日程の詳細は4月以降、センターホームページ、G-Port及び掲示で公示いたします。

	研修先	募集人数	日程（※）	備考
英語研修	ヨーク大学（イギリス）	30名以内	8月4日（金）～25日（金）	平成29年度基礎教養科目対象
	タルトゥ大学（エストニア）	10名以内	8月20日（日）～9月10日（日）	
	プリティッシュヒルズ（日本・福島県）	30名程度	8月9日（水）～11日（金）	国内の英語教育施設
韓国語研修	東国大校（韓国）	15名程度	8月6日（日）～19日（土）	

※募集時期や日程の詳細は、4月以降、センターホームページ、G-Port及び掲示で公示いたします。

留学生のためのイベント（平成28年度2学期）

◆留学生バス旅行の実施【霞会館教育助成金事業】

平成28年10月21日（金）に、神奈川県箱根方面への留学生バス旅行を実施しました。旅行には、本学の留学生43名、センタースタッフ2名の計45名が参加しました。

箱根神社、箱根園の見学を通して、日本の外交の歴史にも触れ、寄木細工（箱根の伝統工芸品）の製作体験も行いながら、留学生同士交流を深めました（平成29年度留学生バス旅行は、5月、10月に実施予定です）。



に、私費留学生、ボランティア学生、派遣留学予定の学生などが集い、賑やかに送別のひと時を楽しみました。

◆留学生東京文化体験学習（甲南大学主催）の実施

【霞会館教育助成金事業】

平成29年2月2日（木）～3日（金）に、甲南大学学生・留学生と共に本学留学生4名が甲南大学主催の東京文化体験学習ツアーに参加しました。事前学習を経て、屋形船体験、都内の美術館や史跡等を巡るテーマ別学習、政府機関訪問等、東京での伝統文化体験学習を2日間にかけて行いました。関西に住む学生から見た東京と、本学留学生の目に映り、生活する東京の文化的な側面への印象の相違なども相互に意見交換するなど、歴史的に縁の深い甲南大学と本学の学生が交流を深めました。

自分が住み慣れた東京を再発見する機会になり、見慣れた東京の風景もいっそうきれいに見えました。関西にある甲南大学の学生さんとグループ学習をして、東京に住む我々とは異なる考え方にも触れることができました。

（日本語日本文学科 鄭 紅さん（中国））

◆留学生書道体験教室の実施【霞会館教育助成金事業】

平成28年12月14日（水）に、留学生書道体験教室を実施しました。

体験教室には、本学留学生20名、及び本年度協定留学に出発予定者を含む日本人学生11名が参加し、そのうち企画・運営は本学書道部員がボランティアで協力してくれました。留学生は、墨作りや実演にも真剣に取り組む、最後には、渾身の一枚を清書しました。留学生たちの作品は、センター前に掲示しています。



■〈春季〉短期ホームステイプログラム【学習院国際交流基金助成事業】

今回は、5名の協定留学生が本プログラムに参加し、5名の日本人学生の家庭に受け入れていただき、日本の家庭体験をしました。興味を持っていただいた方、次回の募集をお待ちください！（ホストファミリーは、国際交流センターボランティアの活動のひとつです）



大学生生活を今までどおりに過ごしていたら絶対に経験出来ないような沢山の体験を、ホストファミリーを引き受けることで、得ることができました。留学生を自分の家に泊めるのは初めてだったので、家族からも心配されました。しかし、実際はそんな事はありませんでした。留学生の彼が日本語が堪能ということにも、大いに助けってもらいましたが、伝える事は、『技術ではなく、思い』が重要だと痛感しました。拙い言葉でも真剣に伝えようとする姿勢が相手に伝わることで、コミュニケーションは十分に成り立つ—そういった、学校の授業では教わらないことを学びました。

日々発見があり、とても楽しい5日間でした。留学生との交流は、学生時代の今しがた出来ません。是非、皆さんもホストファミリーをやってみてはいかがでしょうか？

（経済学科 増田 隆平さん）

■冬のフェアウェルパーティの実施

平成29年1月31日（火）に、3月で修了、卒業予定の留学生の送別として、フェアウェルパーティを実施しました。パーティには、協定留学生と彼らをサポートしてくれたパディを中心



海外協定校と協定留学プログラムによる留学生・派遣学生

■新たに交流協定を締結しました。※最新の協定校一覧は、センターホームページでご確認いただけます。

○サムラトランギ大学（インドネシア）

Universitas Sam Ratulangi - Sam Ratulangi University 

サムラトランギ大学は、1965年に開学した、社会科学(法学、政治学)、経済学、文学、自然科学をはじめ農学、畜産学、水産学等11学部及び大学院プログラムを有する総合大学。インドネシア、スラウェシ島マナドに位置し、同地域の高等教育を担っている。英語による授業の一部で開講するなど、国際交流も活発に行われている。

創立：1965年

所在地：インドネシア・マナド

学生数：約25,000人

学部：Medical School, Faculty of Engineering, Faculty of Agriculture, Faculty of Animal Husbandry, Faculty of Fisheries and Marine Sciences, Faculty of Economics, Faculty of Law, Faculty of Social Science and Political Science, Faculty of Letters, Faculty of Mathematics and Natural Sciences, Faculty of Public Health

■海外協定校からの留学生をご紹介します！

(留学期間：平成29(2017)年4月～)

協定校	受入学生	学習院での所属	留学期間
北京外国語大学 (中国)	張 亦弛 (チョウ エキシ)	日本語日文学科	1年間
慶北大学校 (韓国)	趙 鎮佑 (チョ ジンウ)	物理学科	1年間
東国大学校 (韓国)	池 娟優 (シ ヨンウ)	日本語日文学科	1年間
	趙 倫志 (チョ ユンジ)	日本語日文学科	1年間
ソウル市立大学校 (韓国)	韓 相賢 (ハン サンヒョン)	史学科	1年間
東呉大学 (台湾)	林 燦 (リン サン)	日本語日文学科	半年間
淡江大学 (台湾)	王 立元 (オウ リツゲン)	日本語日文学科	1年間
トリノ大学 (イタリア)	AMATO, MANUELA (アマート マヌエラ)	日本語日文学科	半年間
	CHIERUZZI, VERONICA (キェルツィ ベロニカ)	日本語日文学科	1年間

■本学からの第1期派遣学生をご紹介します！

(留学期間：平成29(2017)年4月～9月/または翌年3月)

派遣先協定校	派遣学生	留学期間
高麗大学校 (韓国)	英語英米文化学科 芳川 真穂	1年間
	国際社会科学科 国村 友貴子	半年間
東国大学校 (韓国)	英語英米文化学科 田邊 美晴	半年間
	政治学科 後藤 久瑠美	1年間
ソウル市立大学校 (韓国)	経営学科 大橋 里菜	1年間
淡江大学 (台湾)	英語英米文化学科 今井 珠巴	1年間
	国際社会科学科 松田 彩音	1年間
マードック大学 (オーストラリア)	英語英米文化学科 島津 真愛	1年間
ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド)	国際社会科学科 柏木 日菜子	1年間
	経済学科 野村 彩恵	1年間

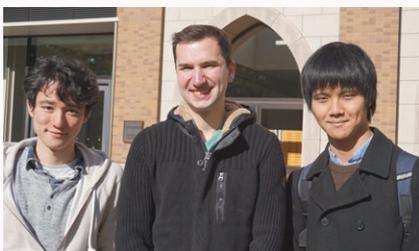
平成28(2016)秋・協定留学生パディを代表して

私がパディプログラムに参加したきっかけは、身近な場所でもっと活発な国際交流をしてみたいというものでした。パディの活動は、書類の用意や区役所での申請の付き添いなど留学生をサポートすることが主な内容です。この活動を通して留学生との会話も弾み、私の語学力も同時に向上させることができました。留学生の友達との交流を通して自分の目標により自信を持つことができたと思います。

国際交流センターには様々な文化・言語をもつ留学生がたくさんいて、とても刺激的な時間を過ごすことができます。パディプログラムは、国際交流への第一歩を踏み出したい学生にとってかけがえのないチャンスになってくれるはずですよ。

(ドイツ語圏文化学科 南 宗寿さん)

ドイツ・マンハイム大学協定留学生のパディ



平成28(2016)年度第1期の協定留学プログラム派遣学生より

初めての土地で生活を始めることは毎日が挑戦の連続でした。銀行口座の開設や友達づくり等、生活の基盤を一から作り上げるという経験は困難もありましたが、その経験を経て、度胸やタフさが身に付きました。大変なこともたくさんあった留学生活でしたが、それ以上にかげがえのない友達や思い出がたくさん出来ました。世界遺産でのトランピングやロードトリップなど、ニュージーランドならではのアクティビティや雄大な自然を現地の友達と満喫できたことは一生の思い出です。

今回の留学を通して、「留学が成功するかどうかは、自分の行動次第である」と実感しました。受け身ではなく、何事にも自分から挑戦し、経験していかないと有意義な留学生活にはなりません。ぜひ、留学への第一歩を踏み出し、たくさんの挑戦や経験をしてほしいと思います！

(英語英米文化学科 宮地 佳奈子さん)



■平成 29 年度基礎教養科目について

国際交流センターでは、基礎教養科目「英語で学ぶ日本事情」及び「海外語学研修」を開講しています。

- 「英語で学ぶ日本事情—Introduction to Japanese Culture, Society, and Scientific Research」…日本文化、社会、科学等の科目のオムニバス形式の授業を英語で学べます。海外協定校からの留学生及び一部の私費留学生を対象としていますが、海外協定校への留学を予定する日本人学生にもお勧めです。
- 「海外語学研修」…夏季に行われる国際交流センター主催「海外語学研修」に参加し、海外の言語・文化・社会等について学ぶことで、実践的なコミュニケーションスキルと適応力を身に付けます。

※平成 29 年度は、夏季休業中実施予定の英語研修（ヨーク大学）を対象とします。

■チャットルーム 2017～ネイティブ・スピーカーと話そう！

国際交流センターでは、協定・私費留学生など外国語のネイティブスピーカーを交えて外国語のみで会話を楽しむチャットルームを、定期開催しています（試験期間、長期休業期間を除く）。学内で外国語のみで会話が出るチャンスです。この機会を積極的に活用し、奮ってご参加ください。実施予定は HP や G-Port でお知らせします。

■平成 29 年度 留学フェアのお知らせ

国際交流センターでは、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年 2 回（第 1 回は 6 月、第 2 回は 10 月）、開催しています。

フェア期間中は、協定留学生による協定校紹介、留学経験者による報告会や個別相談会、「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意します。自由に参加できますのでお気軽にお越し下さい。詳細は、センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。



■平成 30 (2018) 年度 第 1 期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度 5 月頃、平成 30 (2018) 年度第 1 期協定留学プログラム（留学期間：2018 年 4 月～翌年 3 月／派遣先：アジア・オセアニア）の募集を行います。募集要項は国際交流センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご利用ください。
(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/messagefromsenior.html>「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

■海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学費用の軽減を図り、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも掲示や国際交流センターホームページ、G-Port により確認してください（独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください）。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	・「留学願」が承認されている者又は承認されることが見込まれる者（「休学」による渡航は不可） ・成績評価係数が 2.3 以上の者 ・語学能力試験を受験して結果が出ている者
奨学金額	1 名につき 30 万円以内（給付）
採用予定数	年間 50 名程度
募集時期	年 2 回（第 1 回 12 月、第 2 回 6 月）

平成 29 年度に留学を開始する方を対象とした第 2 回目の募集（6 月）については、募集要項を 5 月にセンターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です（平成 29 年度第 1 回の募集は終了しました）。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書（協定留学・協定外留学）が、センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期語学研修奨学金

応募条件	夏季休業中に海外において 3 週間以上の語学研修に参加する者
奨学金額	1 名につき 10 万円以内（給付）
採用予定数	年間 60 名程度
募集時期	年 1 回（9 月末～10 月上旬） ※夏季休業開始前に募集要項を公示

③学習院大学春季語学研修奨学金

応募条件	本奨学金対象の国際交流センター主催春季語学研修に参加する者
奨学金額	1 名につき 7 万円以内（給付）
採用予定数	30 名程度
募集時期	年 1 回（3 月）

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学に必要な語学能力試験を受験した者
奨学金額	1 名につき 1 万円以内（給付）
採用予定数	年間 50 名程度
募集時期	年 2 回（6 月および 12 月）

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	国外で開催される研究集会等で発表を行う大学院生（共同発表を含む）
奨学金額	1 名につき 10 万円以内（給付）
採用予定数	年間 20 名程度
募集時期	年 1 回（12 月）

■TOEFL® 攻略コース及び IELTS™ 対策講座

国際交流センターでは、英語圏への留学を目指す学生の支援として、TOEFL® 攻略コース及び IELTS™ 対策講座を開講しています。詳細は、4 月以降、センターホームページ、G-Port、及び掲示で公示します。

- TOEFL® 攻略コース（5 月開講予定）e-learning による対策講座
- IELTS™ 対策講座（9 月上旬開講予定）ネイティブの講師によるテーマ別授業

【編集後記】

表紙の写真は、政治学科 石綿 紅里さんの作品です。

留学先のキャンパスでのワンシーン、街中で見つけた素敵な風景などを題材に募っている「2016 年度国際交流センター写真コンテスト」の応募作品 56 点の中から、優秀賞に選ばれました。石綿さんは、国際交流センター主催の夏季英語研修（エストニア・タルトゥ大学）に参加した際の思い出の一枚として、応募してくれました。優秀賞以外の作品も、皆さんの留学生活での心に残る瞬間が詰まった素敵な写真ばかりでした。

巻頭言のメッセージにもあるように、異国の地で、自分の目で見て、肌で触れた瞬間の鮮やかな記憶、感動や驚きとのたくさんの出逢いを求めて、皆さんも憧れの街、「海のもこうのよその国」へ、飛び込んでみませんか？

【平成 29 年度国際交流センター運営委員】

所長	秋山隆彦（理学部）	運営委員	星 明男（国際社会科学部）
運営委員	磯崎典世（法学部）	〃	荒川一郎（副学長）
〃	清水順子（経済学部）	〃	小島修一（学生センター所長）
〃	村野良子（文学部）	〃	今枝秀樹（国際交流センター課長）
〃	稲熊宜之（理学部）		

April 1, 2017 vol. 39
News letter

発行日 / 2017 年 4 月 1 日

編集・発行 / 学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1
TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025
<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>
〔学習院 CIE〕などで検索してもヒットします
<https://www.facebook.com/cie.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の所属は、平成 29 年 3 月末時点のものです。